

(資料1)

令和4年度
第2回
地域福祉計画策定協議会

I 市民アンケート調査 結果概要

II 事業所アンケート調査 結果概要

I 市民アンケート調査 結果概要

(1) 目的

本調査は、市民の福祉に関する意識、日常の暮らしの悩みや不安、地域における福祉活動等の現状を分析し、第5次安城市地域福祉計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施。

(2) 調査対象・方法・期間

対象： 住民基本台帳から無作為に選んだ18歳以上の市民3,000人

方法： 郵送により調査票を配布 回答は郵送とWebのいずれかを選択

期間： 令和4年11月22日(火)～12月12日(月)

(3) 回収状況

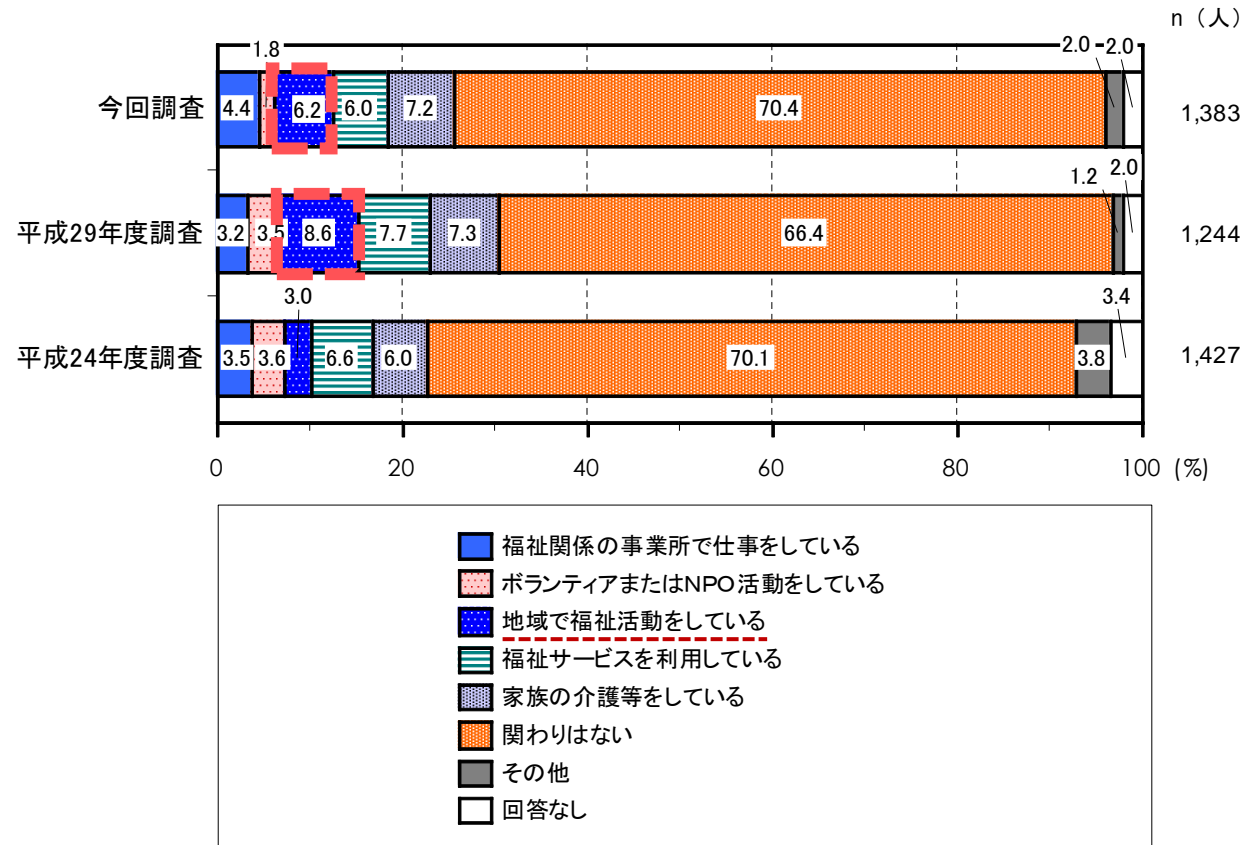
区分	配布数	有効回答数	有効回収率
今回(令和4年調査)	3,000	1,383	46.1%
前回(平成29年調査)	3,000	1,244	41.5%

郵送回答957(69.2%)、Web回答426(30.8%)

I-1 福祉との関わり

問6 現在のあなたと福祉との主な関わりは次のどれですか。(○は1つだけ)

✓ 前回調査に比べ、「地域で福祉活動している」は**2.4ポイントの低下**

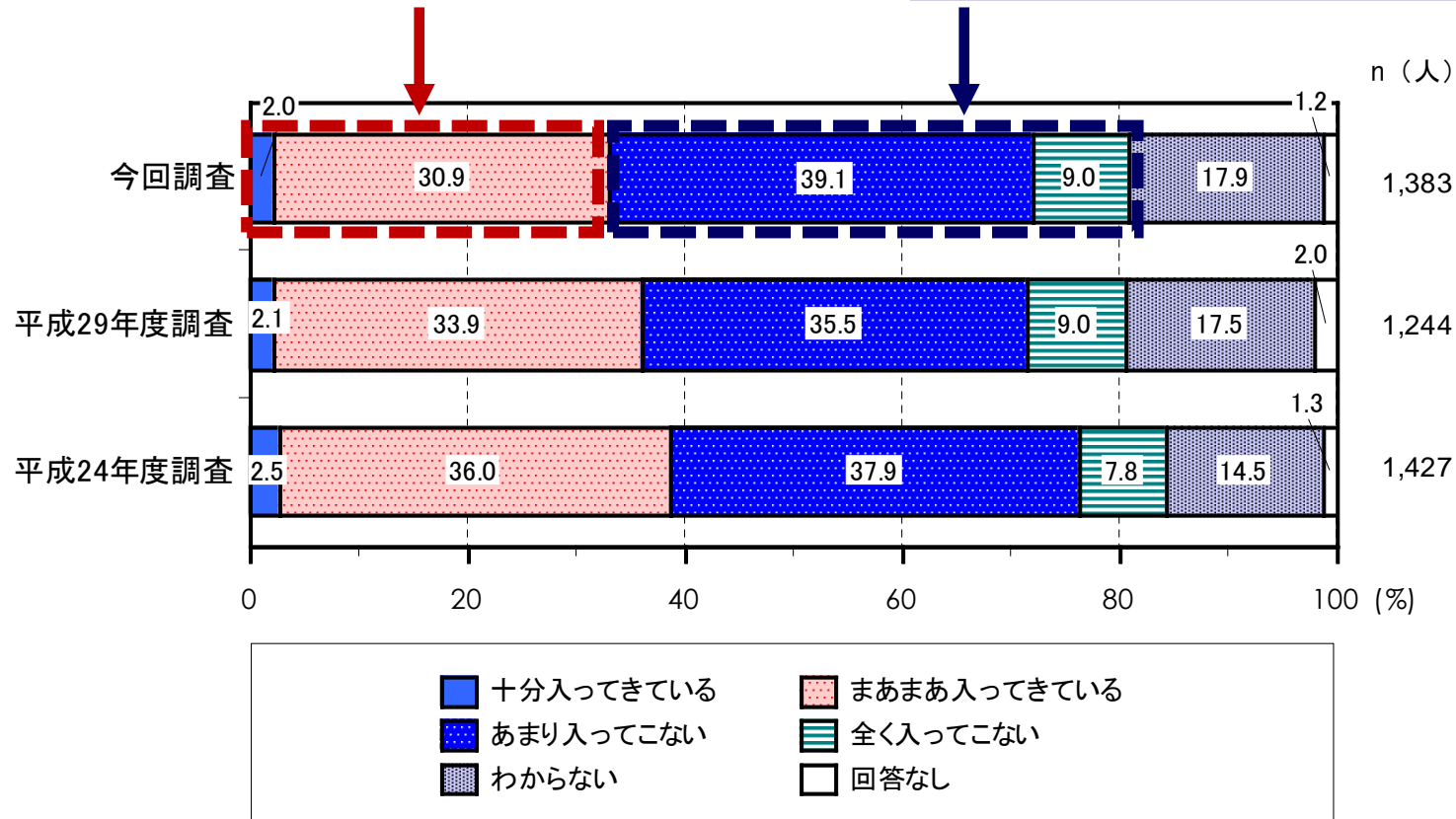


I-2 福祉に関する情報入手の程度

問8 あなたは、現在、福祉に関する情報がどの程度入ってきているとお考えですか。
(○は1つだけ)

✓ 「十分」+「まあまあ」
=『入ってきている』は32.9%

✓ 「あまり」+「全く」
=『入ってこない』は48.1%

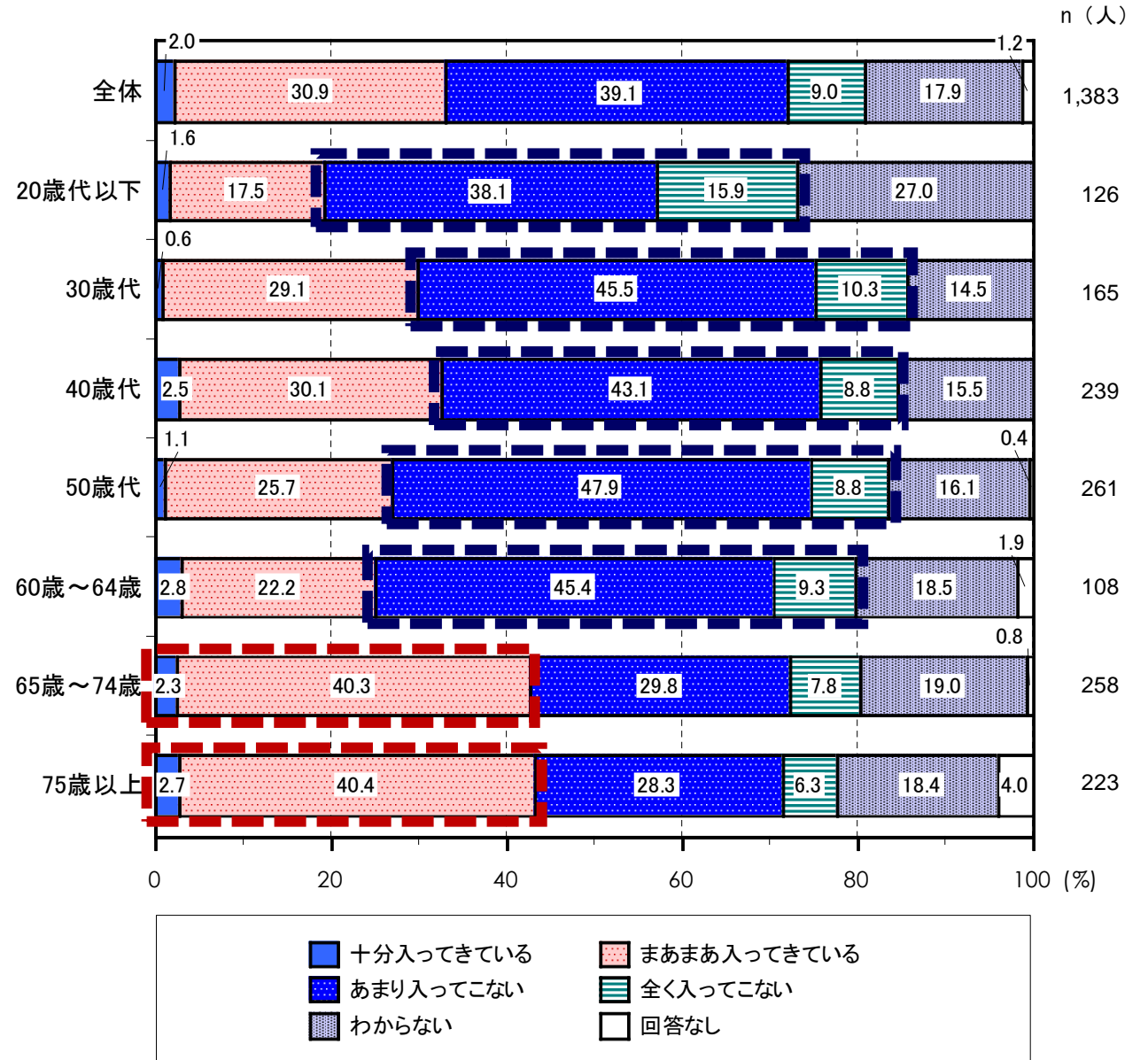


I-2 福祉に関する情報入手の程度

問8 あなたは、現在、福祉に関する情報がどの程度入ってきているとお考えですか。(○は1つだけ)

✓ 福祉に関する情報が『入ってきている』と回答する人は、**65歳以上の高齢者層で高い。**

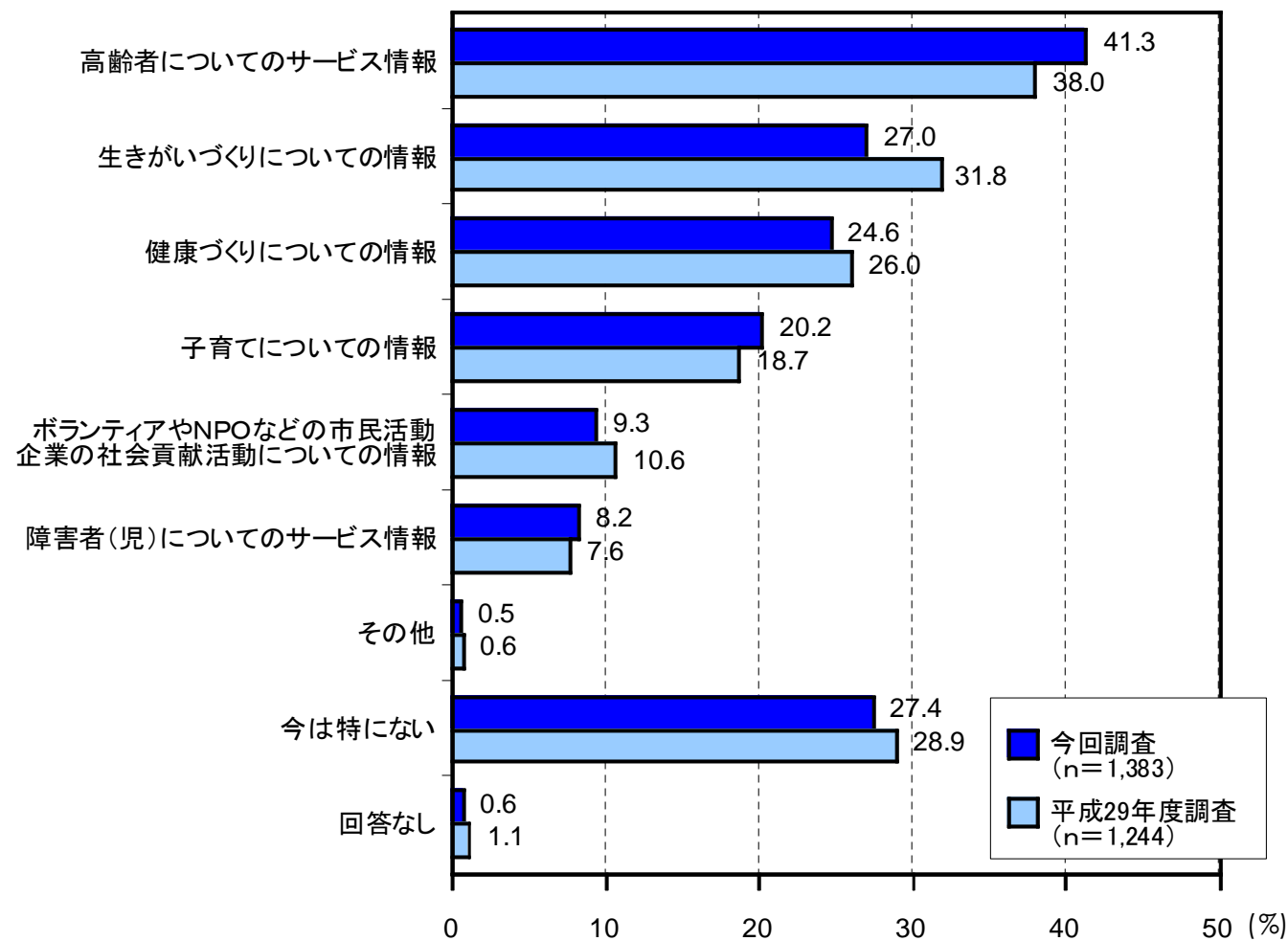
✓ 64歳以下の年齢層では、情報が『入ってこない』と回答する人の方が多い。



I-3 福祉に関して知りたい情報

問7 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

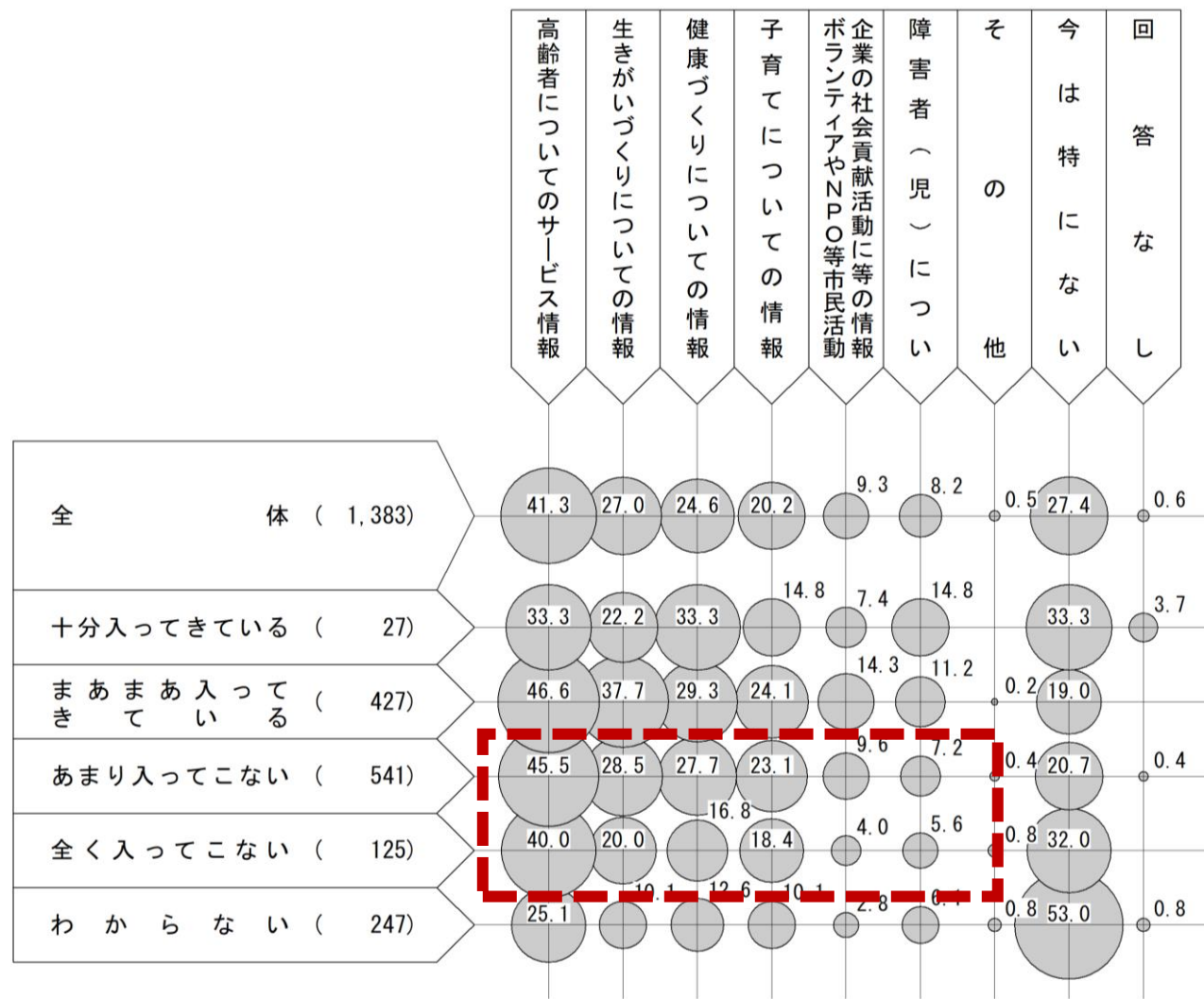
- ✓ 「高齢者についてのサービス情報」が41.3%で最も高い。
- ✓ 「今は特にない」が27.4%で2番目に高い。
- ✓ 「生きがいづくり(講座、教室、サークル活動など)についての情報」、「健康づくりについての情報」、「子育てについての情報」がこれに続く。



I-3 福祉に関して知りたい情報

問7 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

✓ 福祉に関する情報が『入ってこない』と回答した人でも、福祉に関する情報を知りたいという割合は低くない。

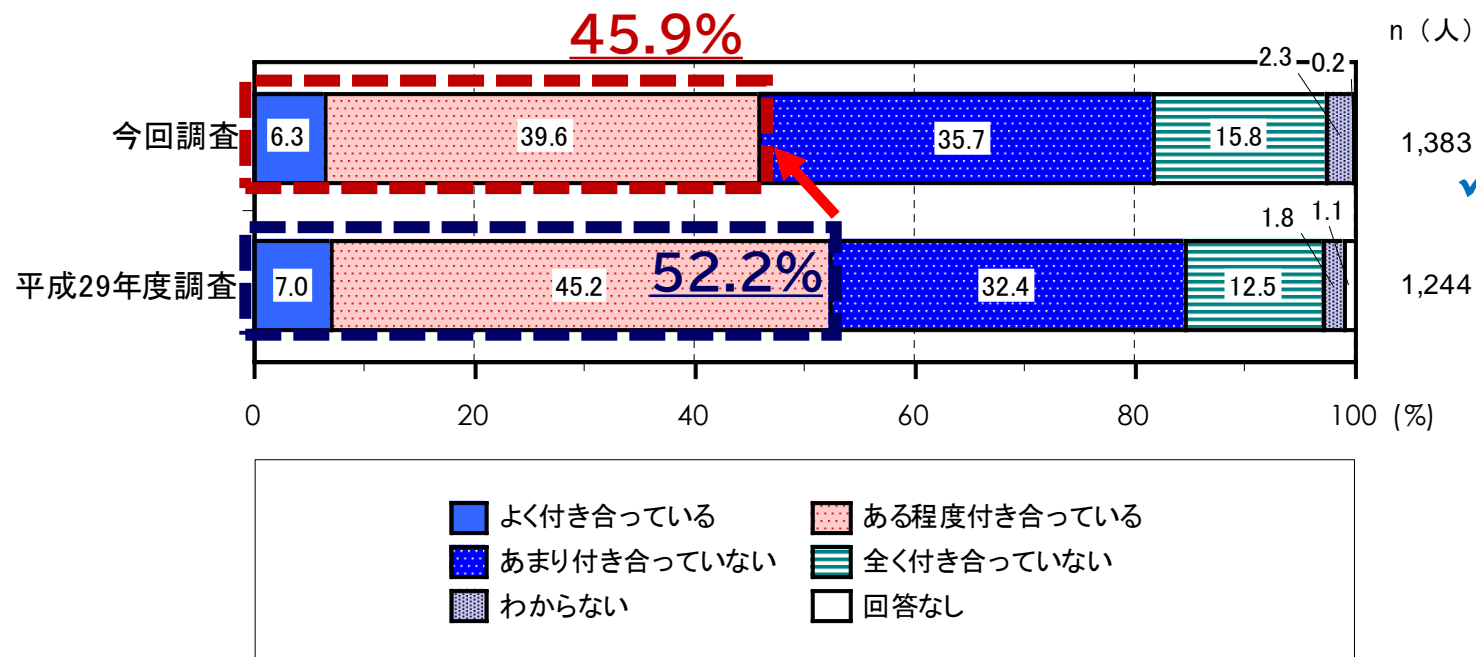


I-4 近所づきあいの程度

問11 あなたは地域での付き合い(近所づきあい)をどの程度していますか。(○は1つだけ)

✓ 今回調査「よく」+「ある程度」
=『付き合っている』は45.9%

✓ 平成29年度調査「よく」+「ある程度」
=『付き合っている』は52.2%



✓ 前回より6.3ポイント低下
近所づきあいは希薄化の傾向に

I-5 望ましい近所づきあいの程度

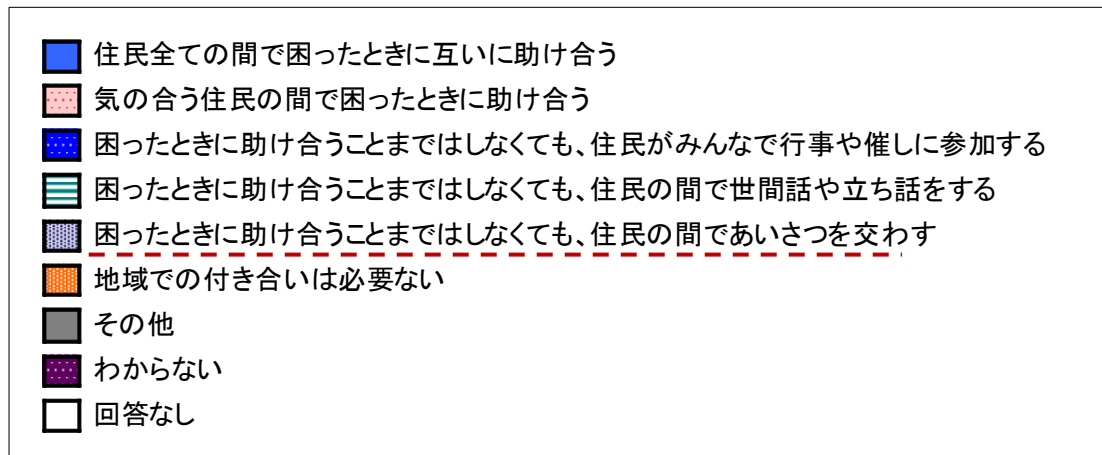
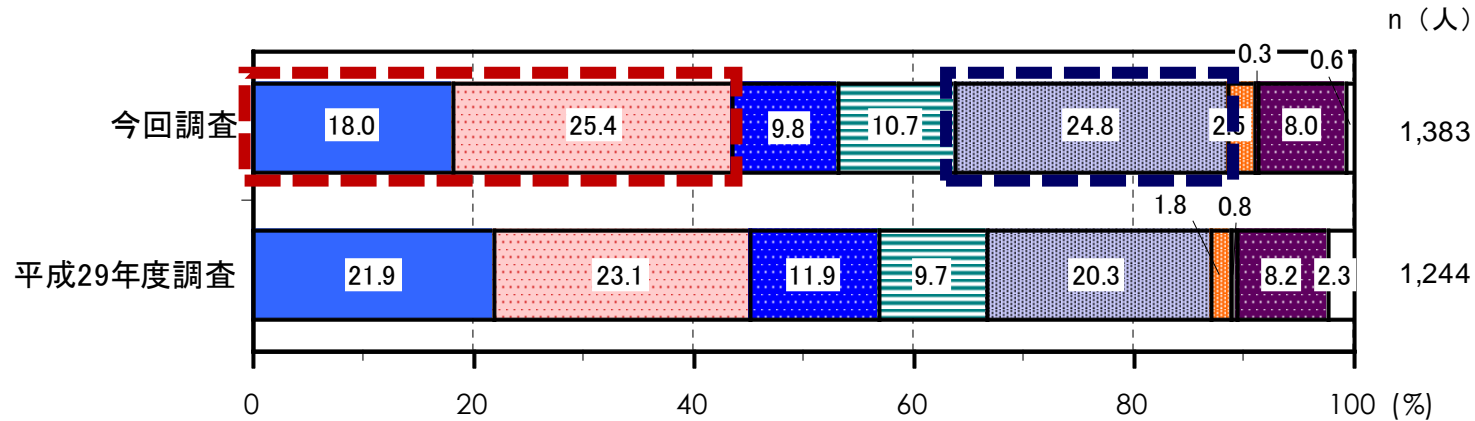
問12 地域での付き合い(近所づきあい)は、どの程度が望ましいと思いますか。(〇は1つだけ)

✓ 『困ったときに助け合う』

前回45.0%⇒今回43.4%

✓ 『助け合うことまではしなくとも』

前回20.3%⇒今回24.8%



✓ 「困ったときに助け合うことまではしなくとも、住民の間であいさつを交わす」が伸びている。

I-6 近所の人からの頼みごとやお手伝いの有無

問13 あなたは、近所の人から頼みごとをされたり、お手伝いしたりすることがありますか。
(○は1つだけ)

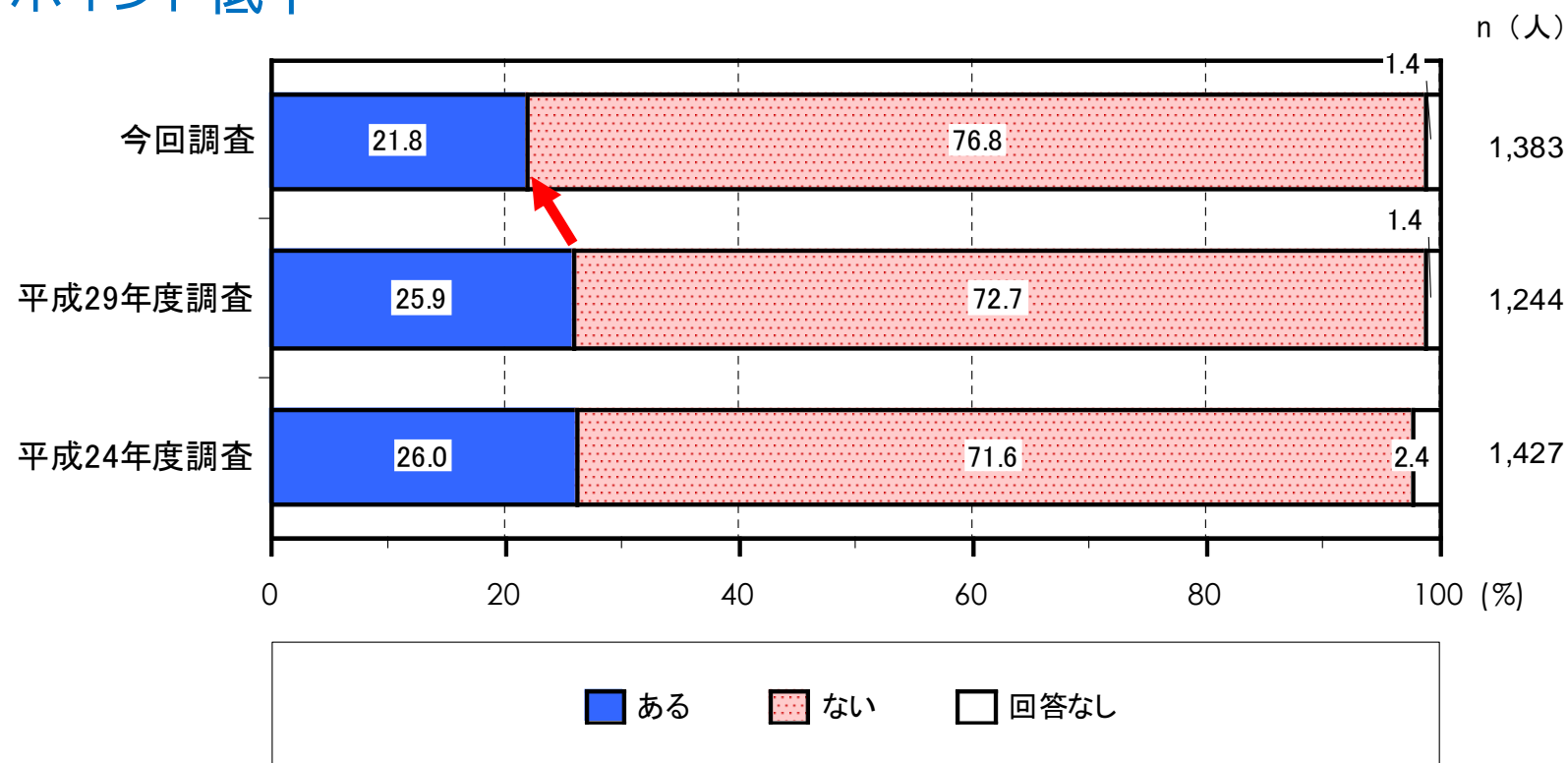
✓ 『ある』

前回25.9%⇒今回21.8%

✓ 前回より4.1ポイント低下

✓ 『ない』

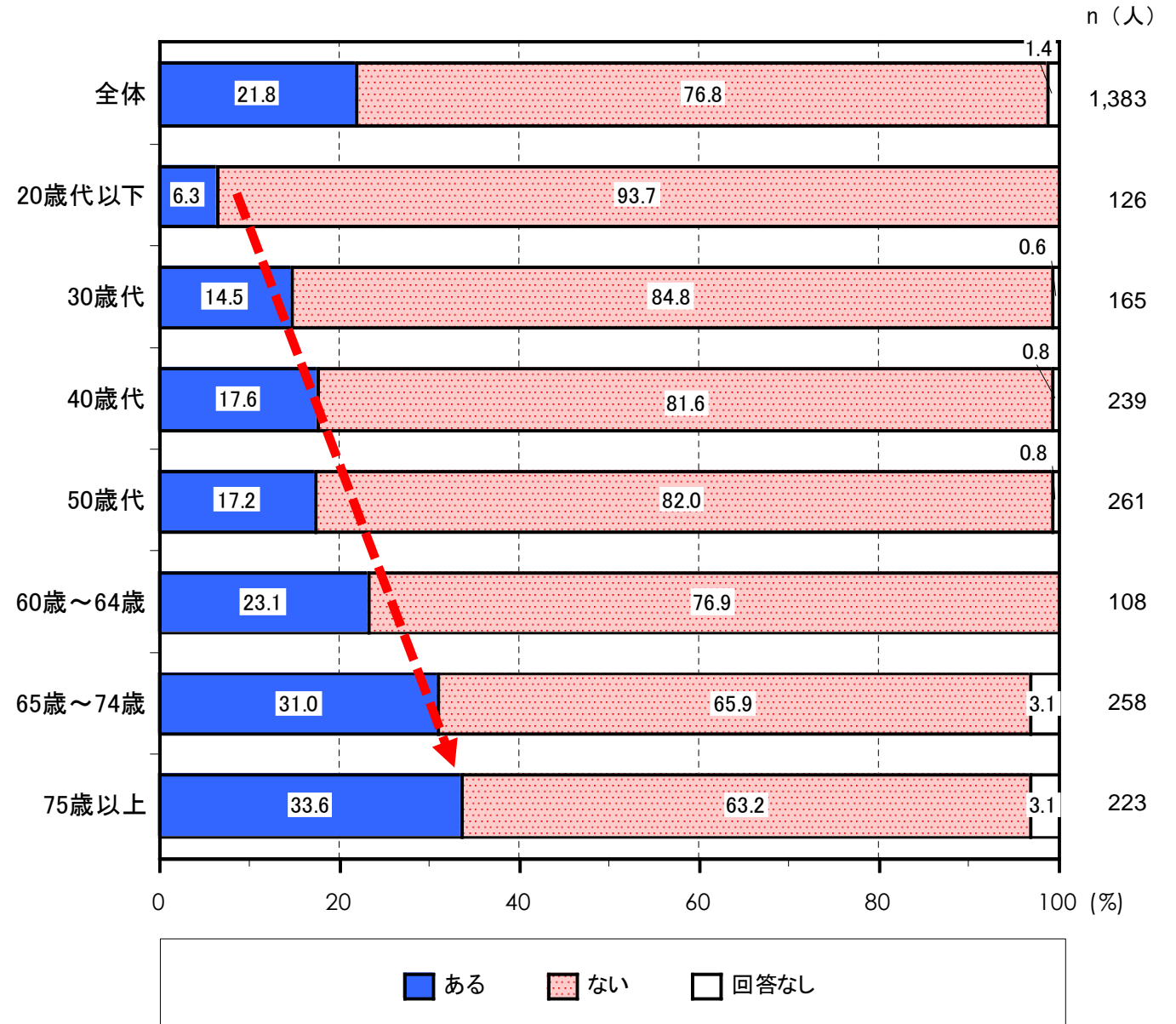
前回72.7%⇒今回76.8%



I-6 近所の人からの頼みごとやお手伝いの有無

問13 あなたは、近所の人から頼みごとをされたり、お手伝いしたりすることがありますか。(○は1つだけ)

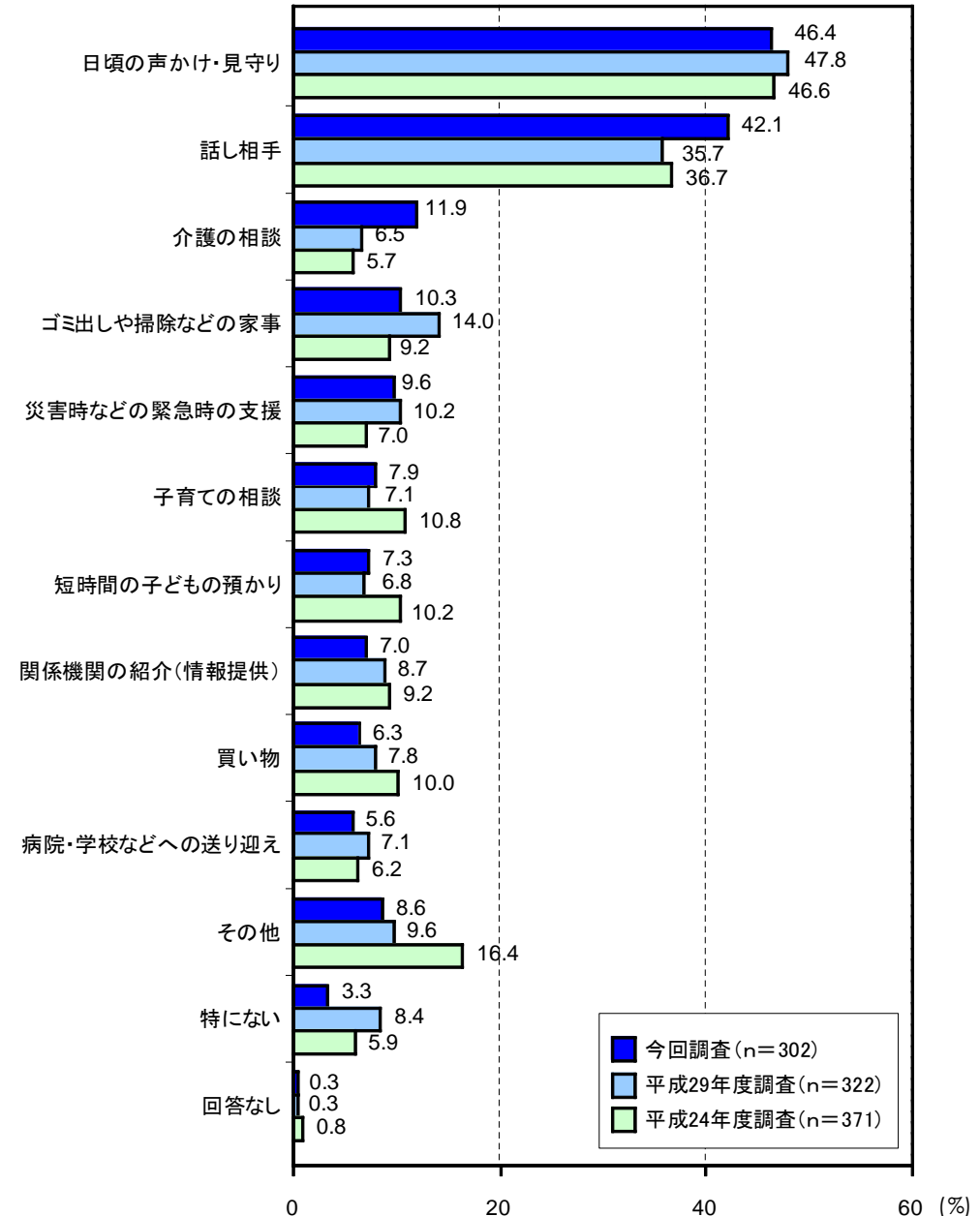
✓ 頼みごとされたり、お手伝いをしたりする人の割合は、年齢が上がるほど高くなる。



I-7 近所の人からの頼みごとやお手伝いの内容

問13-1 問13で「1 ある」を選んだ人におたずねします。
それはどのような手伝いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- ✓ 「日頃の声かけ・見守り」が46.4%で最も多い。
- ✓ 「話し相手」は42.1%で2番目に多い。前回の35.7%から6.4ポイント上昇。
- ✓ 「介護の相談」が、前回の6.5%から5.4ポイント上昇し11.9%に。



I-8 毎日の暮らし・10年後の暮らしの悩みや不安

問14 毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていますか。
(○は3つまで)

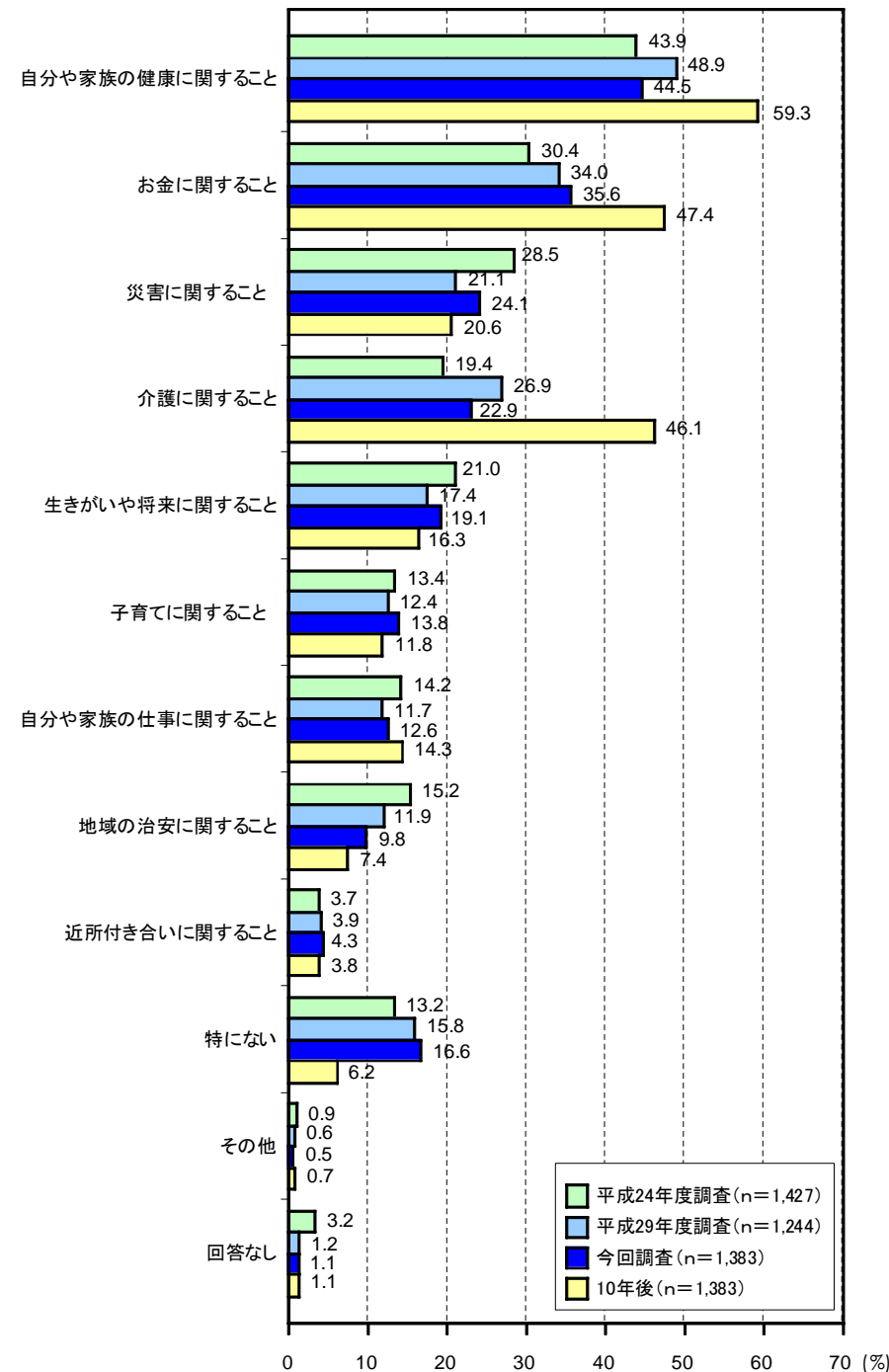
問15 10年後のあなたご自身やあなたの家族の状況を考えた場合、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていると思われますか。(○は3つまで)

✓ 現状不安

- 「自分や家族の健康に関すること」
- 「お金(収入や家計)に関すること」
- 「災害に関すること」が上位3つ

✓ 将来不安(10年後の不安)

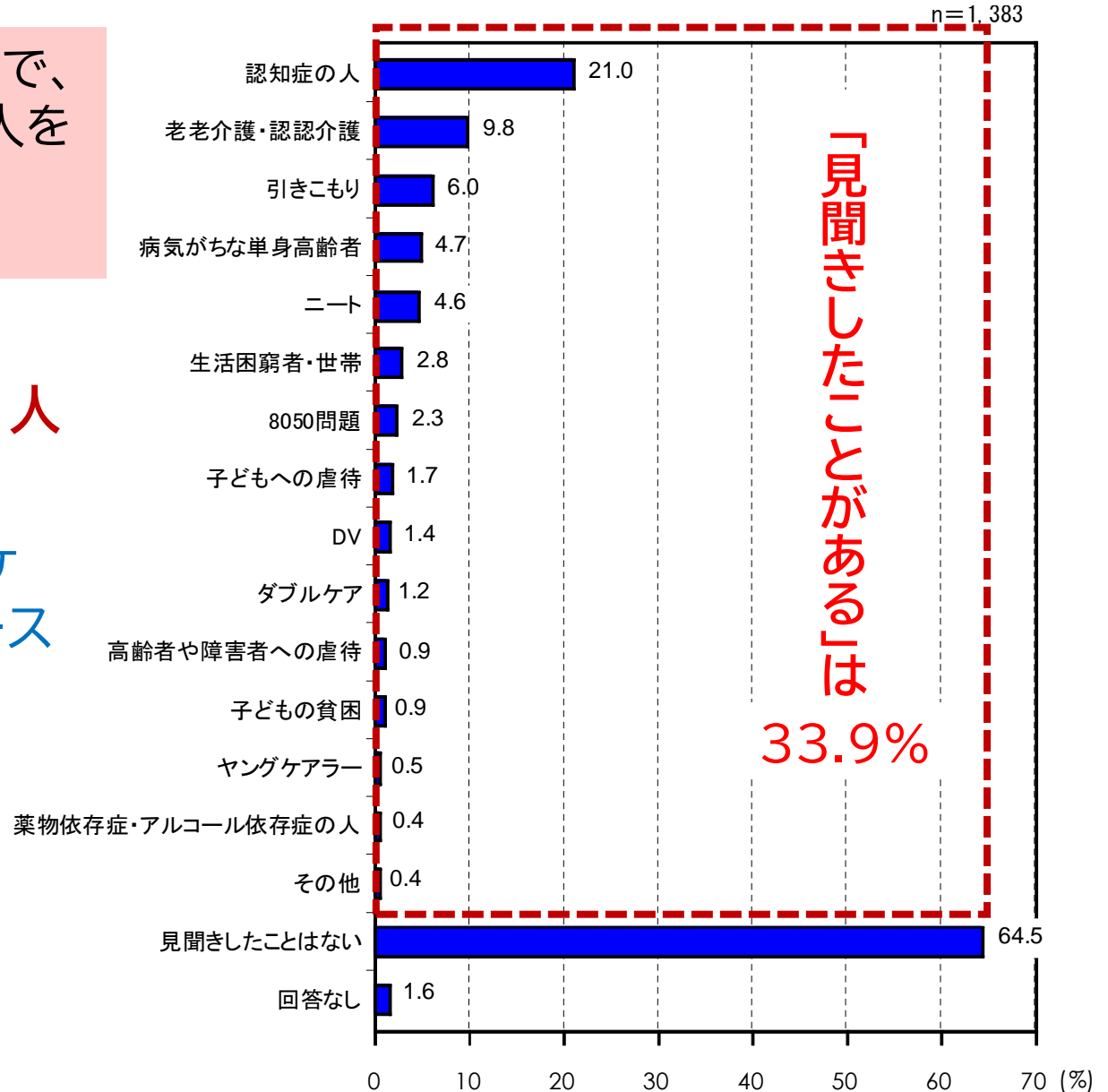
- 「自分や家族の健康に関すること」
- 「介護に関すること」
- 「お金(収入や家計)に関すること」が上位3つ



I-9 ご近所で生活課題を抱えた人を見聞きしたことの有無

問17 あなたは、ご近所(家族は除く)で、以下の様な生活課題を抱えた人を見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- ✓ 「認知症の人」は21.0%。5人に1人は認知症の人を見聞きしている。
- ✓ 「8050問題」、「虐待」、「ダブルケア」、「ヤングケアラー」などのケースも少数ながら見聞きされている。

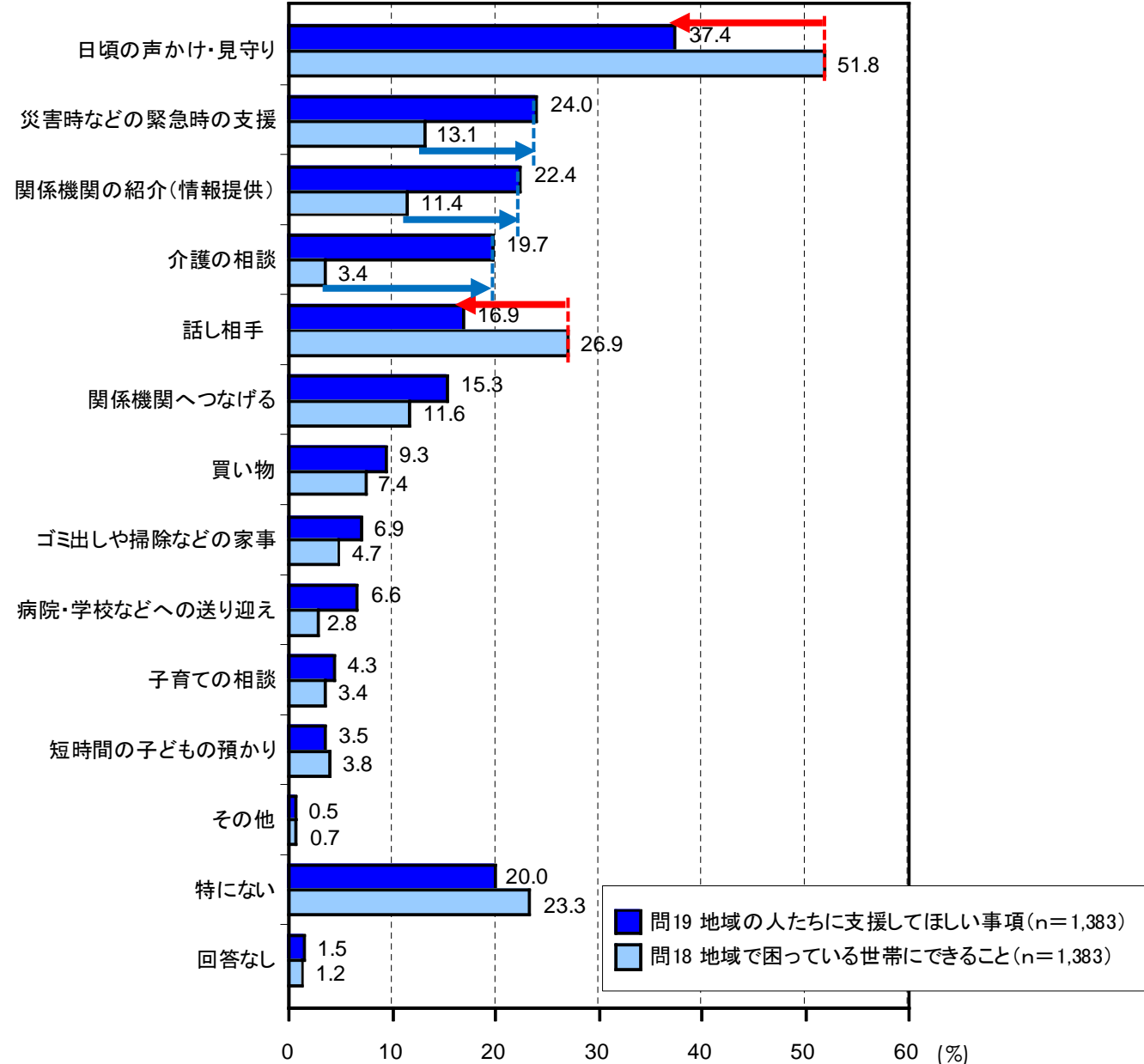


I-10 ご近所に頼まれられること・自分が支援してほしいこと

問18 地域で、困っている世帯があったら、あなたにできることは何ですか。(〇は3つまで)

問19 あなた自身やご家族が困った時、以下に示したようなことを、地域の人たちに支援してほしいですか。(〇は3つまで)

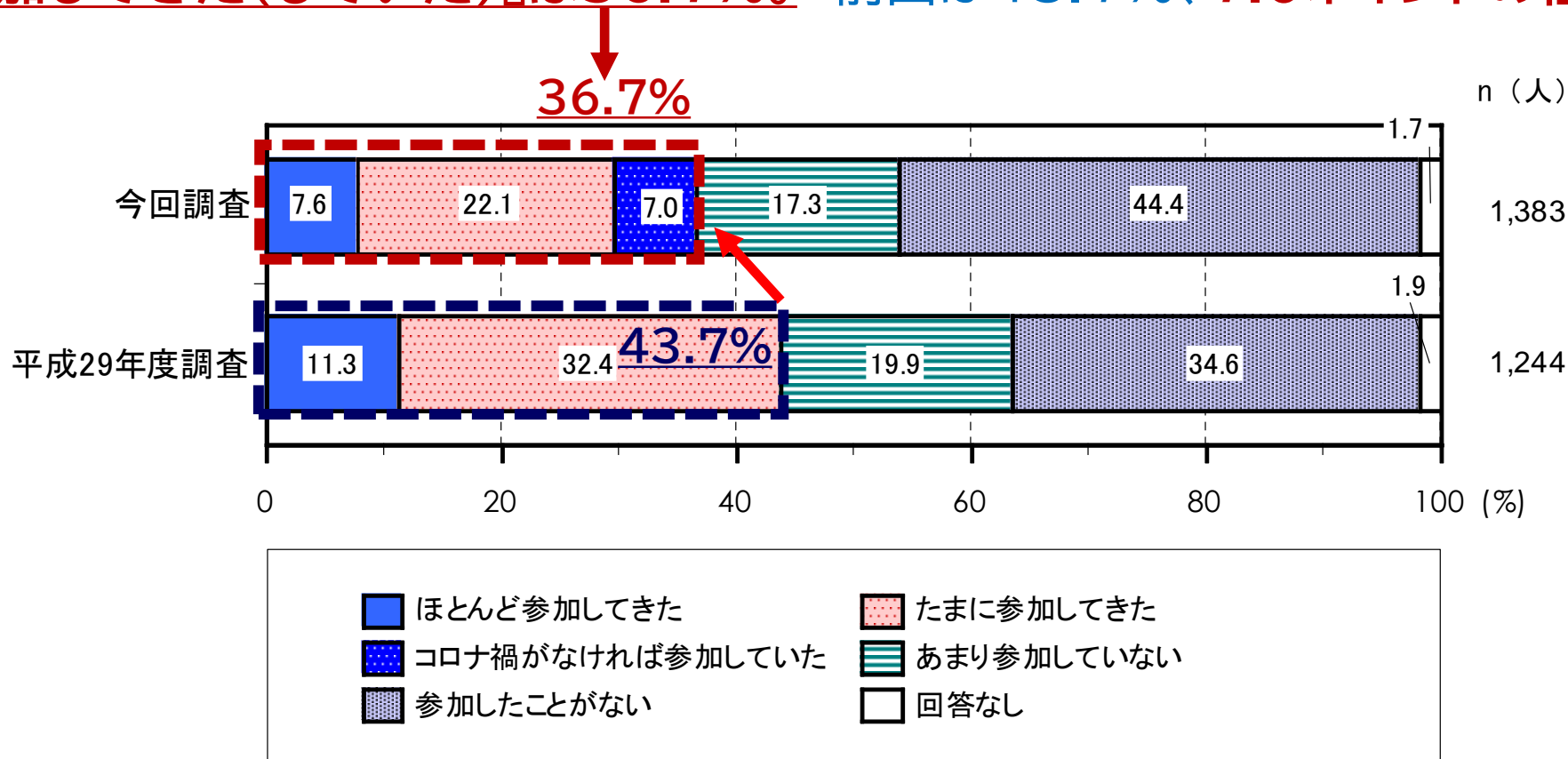
順位	近所に頼まれられること	困ったときに支援してほしいこと
1位	日頃の声掛け・見守り(51.8%)	日頃の声掛け・見守り(37.4%)
2位	話し相手(26.9%)	災害時など緊急時の支援(24.0%)
3位	災害時など緊急時の支援(13.1%)	関係機関の紹介(22.4%)



I-11 地域行事等への参加

問21 この1年間で、あなたは、防犯や防災、お祭りなど地域の行事等に参加しましたか。
(○は1つだけ)

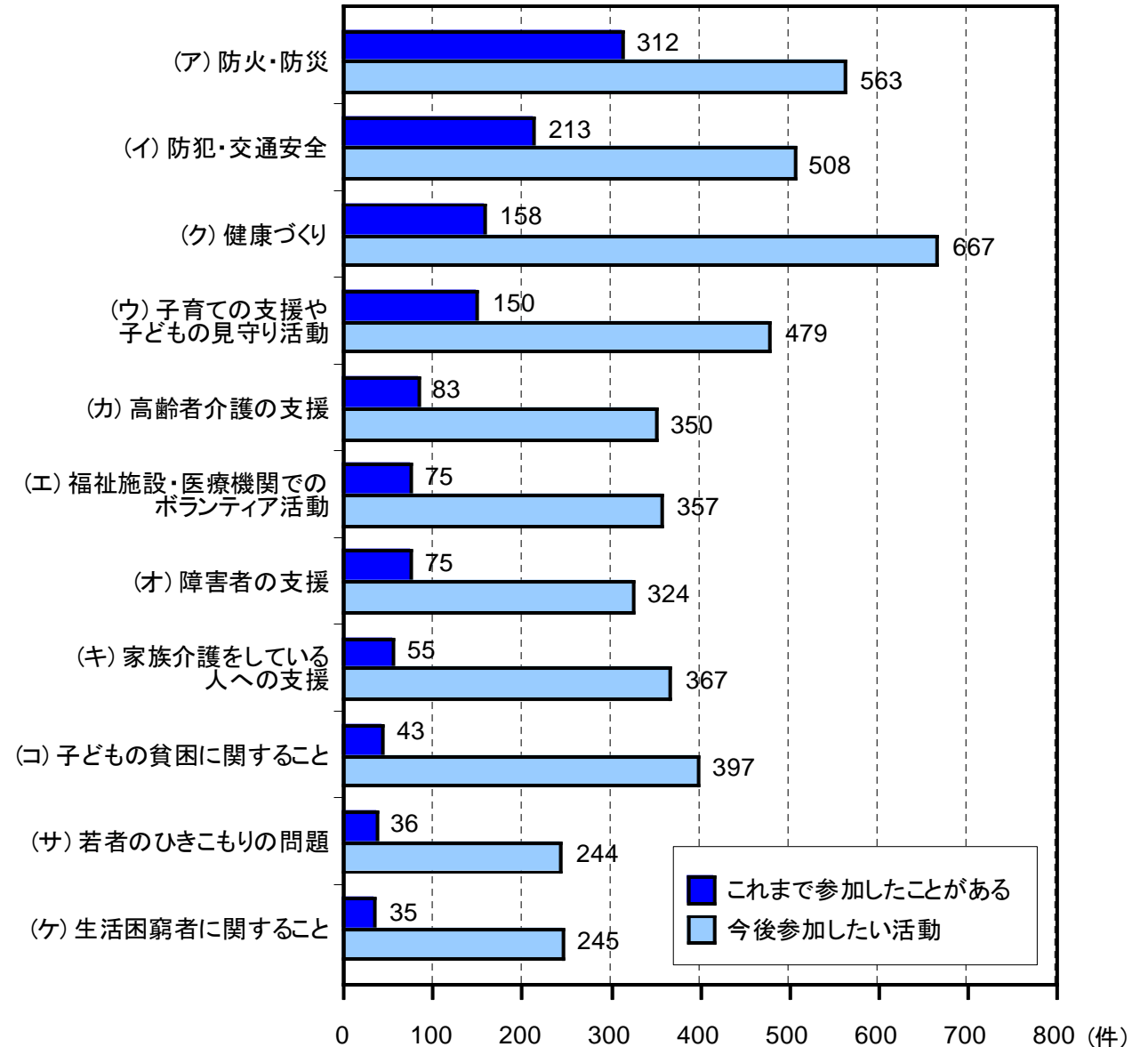
✓ 「ほとんど」+「たまに」+「コロナ禍がなければ」
=『参加してきた(していた)』は36.7%。 前回は43.7%、7.0ポイントの低下。



I-12 地域福祉活動への関わり

問22 現在、あなたは、次の(ア)～(サ)のような地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動に関わっていますか。また、今後関わっていききたいですか。(ア)～(サ)の項目それぞれについて、1～6の該当する番号を1つだけ選んで○をつけてください。

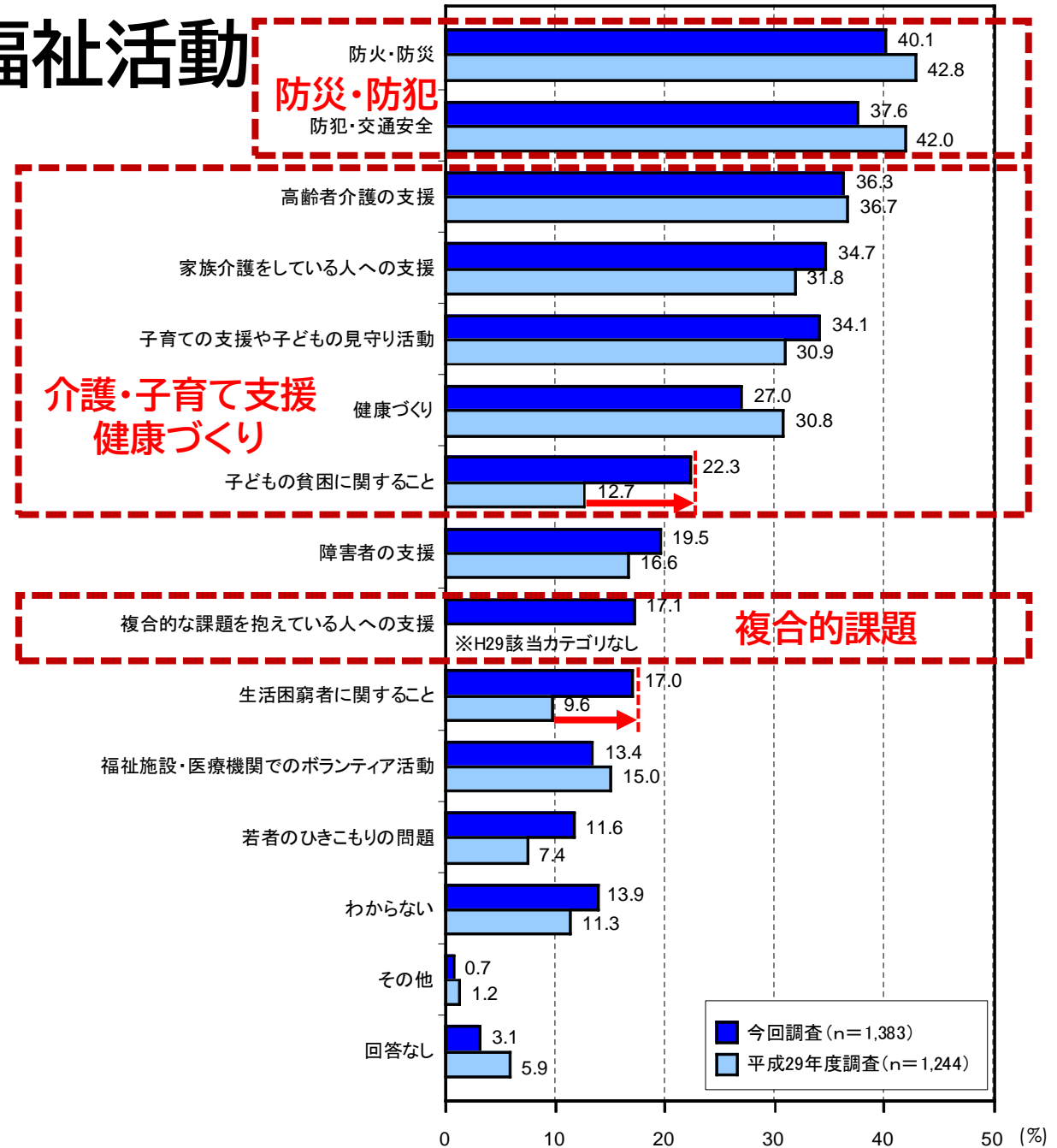
✓ いずれの活動においても、「これまで参加したことがある」よりも、「今後活動したい」という人の数が多い。



I-13 今後充実すべき地域福祉活動

問23 今後のあなたの暮らしや今後予想される地域社会の状況を踏まえると、今後、どのような地域の福祉活動を充実していくべきと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

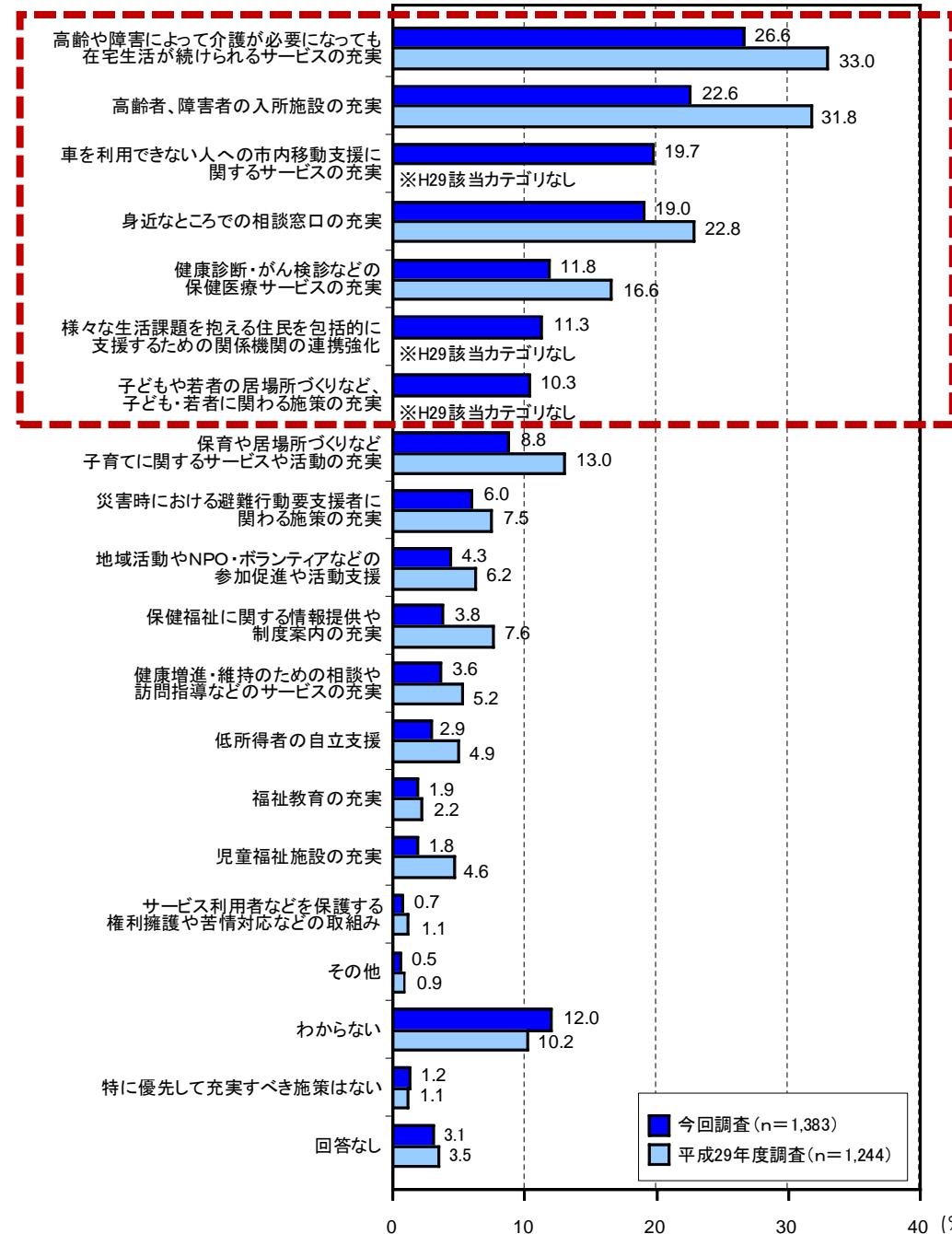
- ✓ 防災・防犯に関わる活動、介護・子育て支援、健康づくりに関わる活動が上位。
- ✓ 「複合的な課題を抱えている人への支援」にも2割近くの回答。
- ✓ 前回調査との比較では、「子どもの貧困に関すること」、「生活困窮者に関すること」の伸びが大きい。



I-14 優先すべき地域福祉関連施策

問29 今後、市は、以下のどの地域福祉関連施策を優先して充実すべきだと思いますか。
(○は2つまで)

順位	優先すべき福祉関連施策
1位	高齢や障害によって介護が必要になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実(26.6%)
2位	高齢者、障害者の入所施設の充実(22.6%)
3位	車を利用できない人への市内移動支援に関するサービスの充実(19.7%)
4位	身近なところでの相談窓口の充実(19.0%)
5位	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実(11.8%)
6位	様々な生活課題を抱える住民を包括的に支援するための関係機関の連携強化(11.3%)
7位	子どもや若者の居場所づくりなど、子ども・若者に関わる施策の充実(10.3%)



I-15 市民アンケート調査結果のポイント・課題

- ◆ 福祉に関する知りたい情報があっても、情報を得ていない人が多い。必要とする人に情報が届くように提供方法・手段等の改善策の検討が必要。
- ◆ 地域行事や地域の福祉活動はやや停滞傾向がみられる(コロナ禍の影響大きいと考えられる)。停滞した活動の再始動・活性化への検討が必要。
- ◆ あいさつ程度の軽いご近所関係を望む者が増える傾向にある。こうした地域での付き合い(近所付き合い)の希薄化への改善策の検討が必要。
- ◆ 『自分が困ったときに支援してほしい割合』が、『ご近所に頼まれて自分ができることの割合』よりも高いケース(災害時等の緊急時の支援、関係機関の紹介など)について、支援策の検討が必要。
- ◆ 一方、地域だけですべての支援ニーズに応えていくことができないこともあることから、多様な社会資源との連携を深めていくことが必要。
- ◆ 今後地域福祉活動に「関わってみたい」と考える人は相当数存在している。こうした潜在層を顕在化し、活動につなげていくことが必要。

Ⅱ 事業所アンケート調査 結果概要

(1)目的

本調査は、市内において福祉サービスを提供している各事業所を対象に、サービス利用者の生活課題、他の関係機関との連携等の現状を分析し、第5次安城市地域福祉計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施。

(2)調査対象・方法・期間

対象： 市内に所在地を有し、介護保険サービス、障害福祉サービスを提供する290事業所（内訳）介護保険186、障害福祉104

方法： 郵送により調査票を配布 回答は郵送とWebのいずれかを選択

期間： 令和4年11月22日(火)～12月12日(月)

(3)回収状況

区分	配布数	有効回答数	有効回収率
今回(令和4年調査)	290	206	71.0%
前回(平成29年調査)	244	161	66.0%

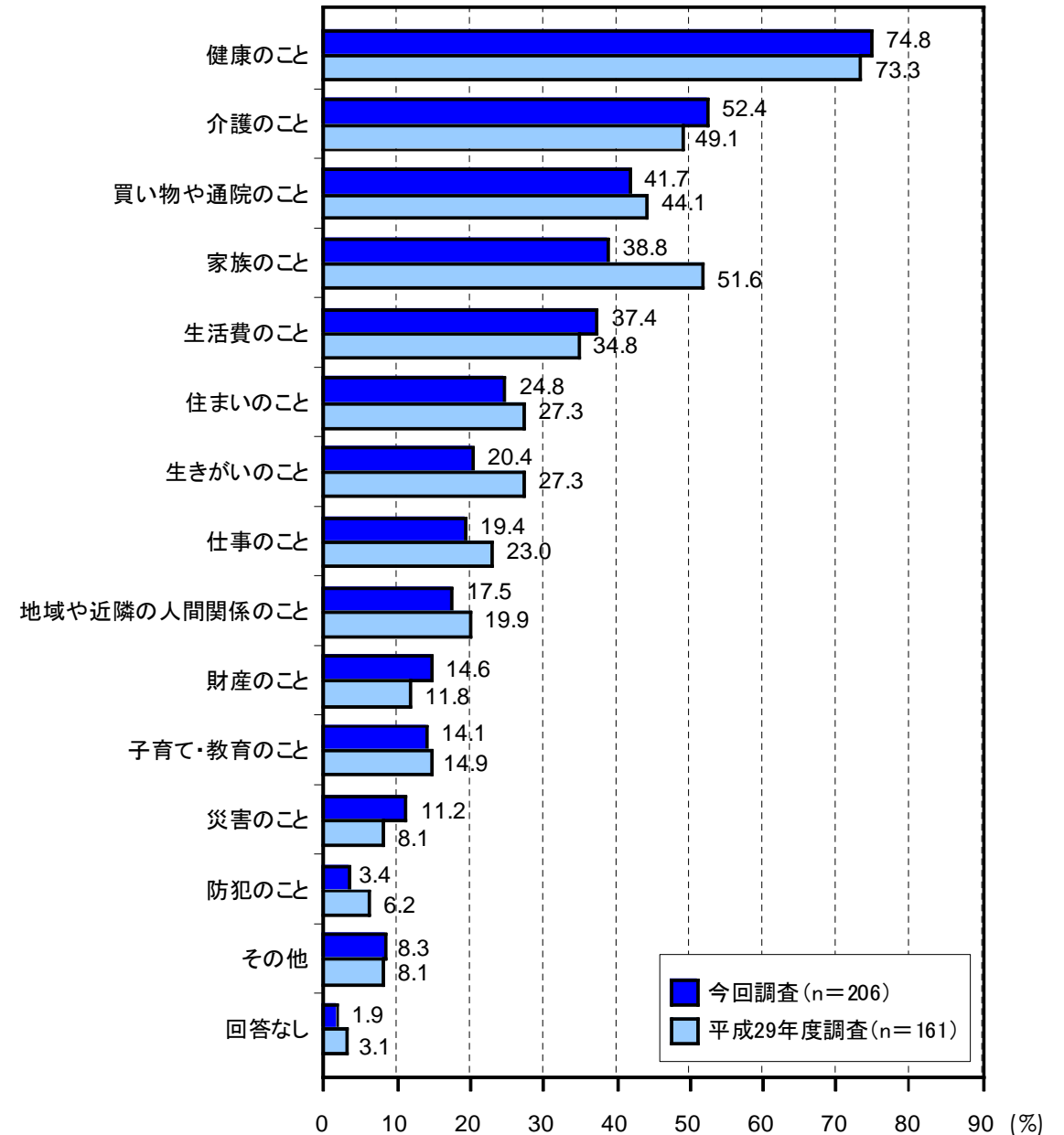
郵送回答141(68.4%)、 Web回答65(31.6%)

Ⅱ-1 サービス利用者が抱える不安

問8 サービス利用者と接する中で、サービス利用者の方々が特にどのようなことで困っている、あるいは不安を抱えているとお感じですか。(〇はいくつでも)

✓ サービス利用者が抱える不安としては、「健康のこと」が特に多い。

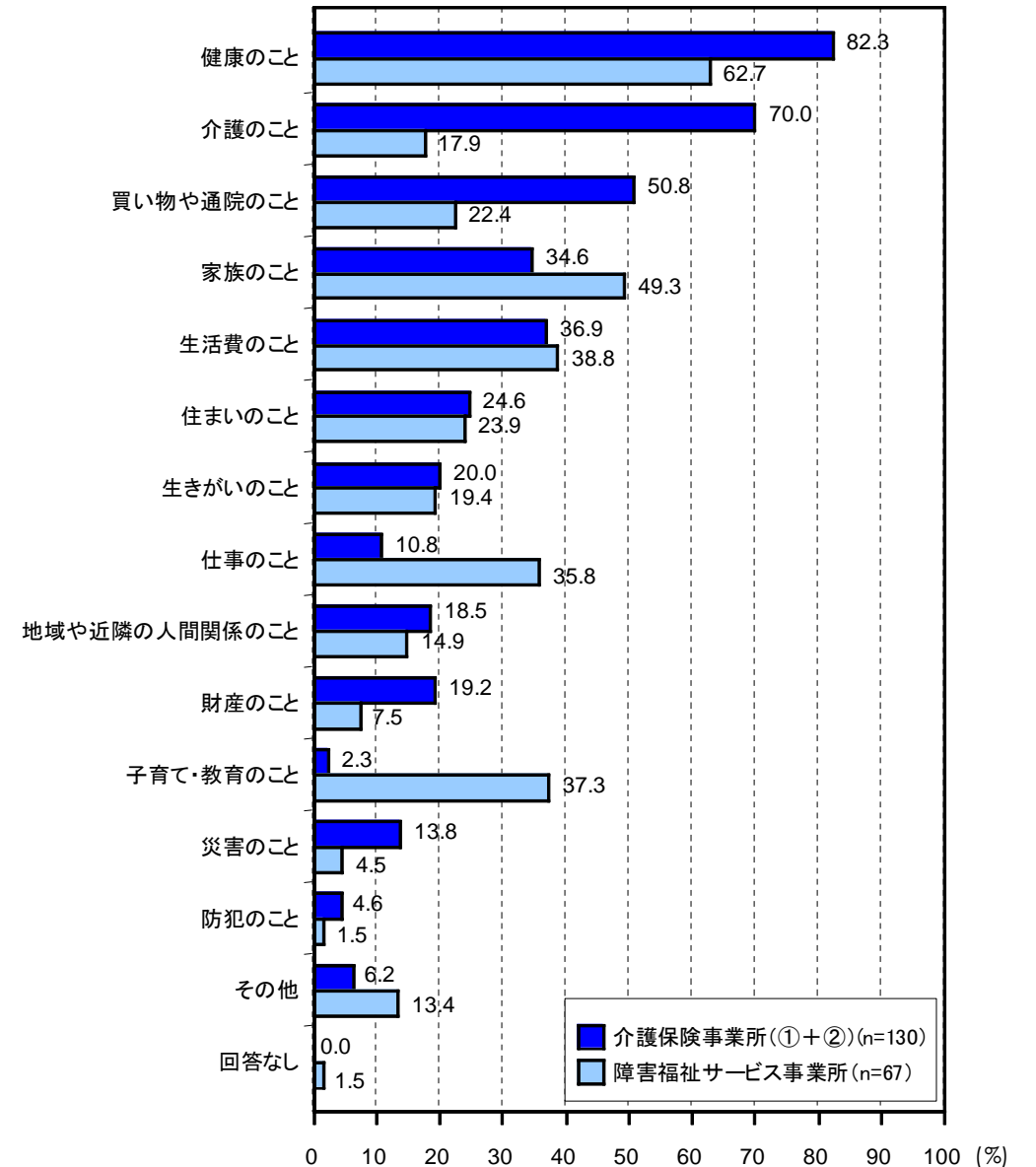
順位	サービス利用者の困りごと・不安
1位	健康のこと(74.8%)
2位	介護のこと(52.4%)
3位	買い物や通院のこと(41.7%)
4位	家族のこと(38.8%)
5位	生活費のこと(37.4%)



Ⅱ-1 サービス利用者が抱える不安

問8 サービス利用者と接する中で、サービス利用者の方々が特にどのようなことで困っている、あるいは不安を抱えているとお感じですか。(〇はいくつでも)

順位	介護保険事業所	障害福祉サービス事業所
1位	健康のこと (82.3%)	健康のこと (62.7%)
2位	介護のこと (70.0%)	家族のこと (49.3%)
3位	買い物や通院のこと (50.8%)	生活費のこと (38.8%)
4位	生活費のこと (36.9%)	子育て・教育のこと (37.3%)
5位	家族のこと (34.6%)	仕事のこと (35.8%)

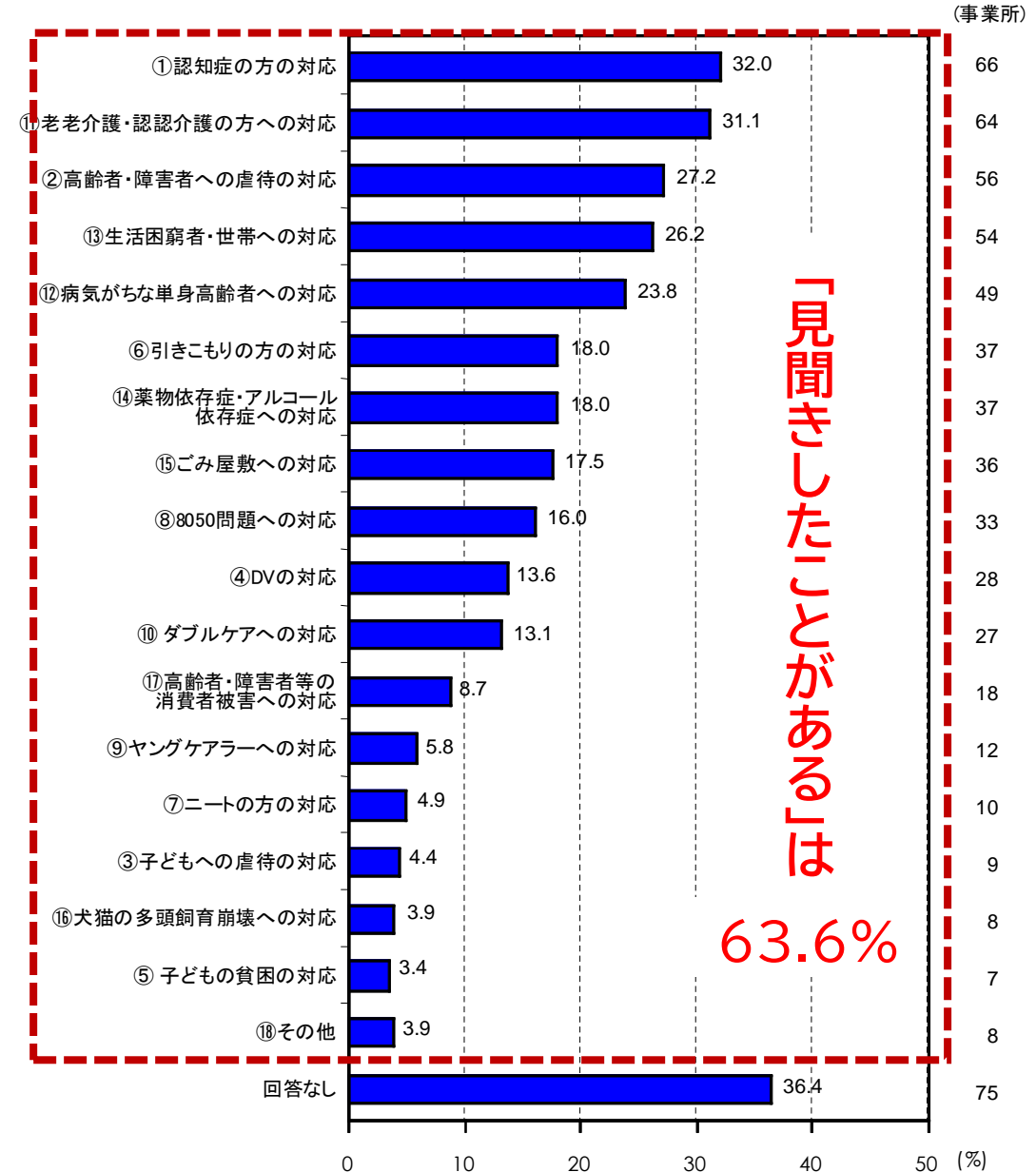


Ⅱ-2 “担当分野以外の困りごと”を抱える利用者の有無

問11 過去1年の間で、貴事業所の“担当分野以外の困りごと”を抱えている利用者またはその家族を見聞きしたことはありますか。その“困りごと”はどのような分野であったかをお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- ✓ “担当分野以外の困りごと”を抱える利用者を見聞きしたことがある事業者が63.6%を占める。
- ✓ 「認知症の方」、「老老介護・認認介護の方」への対応は、全事業所の3割を超える。

順位	サービス利用者の困りごと・不安
1位	認知症の方の対応(32.0%)
2位	老老介護・認認介護の方への対応(31.1%)
3位	高齢者・障害者への虐待への対応(27.2%)
4位	生活困窮者・世帯への対応(26.2%)
5位	病気がちな単身高齢者への対応(23.8%)

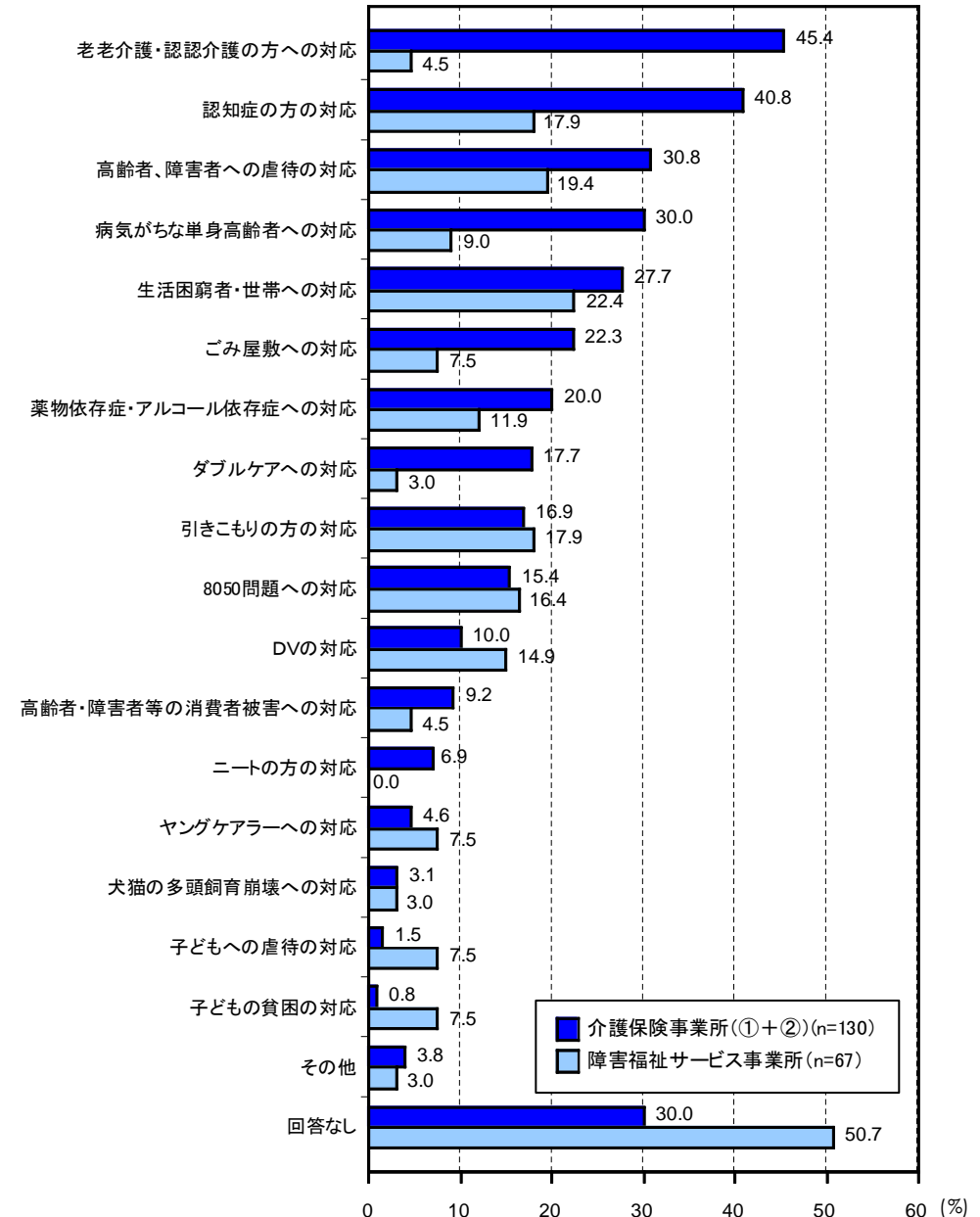


Ⅱ-2 “担当分野以外の困りごと”を抱える利用者の有無

問11 過去1年の間で、貴事業所の“担当分野以外の困りごと”を抱えている利用者またはその家族を見聞きしたことはありますか。その“困りごと”はどのような分野であったかをお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

「見聞きしたことがある」は、
介護保険事業所 70.0%
障害福祉サービス事業所 49.3%

順位	介護保険事業所	障害福祉サービス事業所
1位	老老介護・認知介護の方への対応(45.4%)	生活困窮者・世帯への対応(22.4%)
2位	認知症の方への対応(40.8%)	高齢者・障害者への虐待への対応(19.4%)
3位	高齢者・障害者への虐待への対応(30.8%)	認知症の方への対応(17.9%)
4位	病気がちな単身高齢者への対応(30.0%)	引きこもりの方への対応(17.9%)
5位	生活困窮者・世帯への対応(27.7%)	8050問題への対応(16.4%)

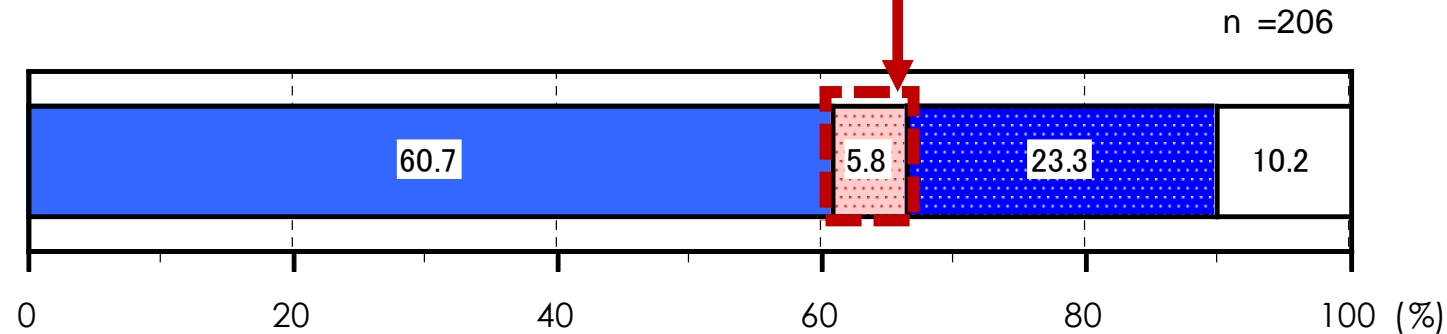


Ⅱ-3 “担当分野以外の困りごと” の対処法

問12 “担当分野以外の困りごと”を把握した場合に、どう対処しましたか。(○は1つだけ)

✓ 「他の機関等につないだ
(つなごうとしている)」は
60.7%

✓ 「他の機関等につなげなかった(まだつな
いでいない)」は5.8%で少数です。



- 他の相談支援機関等につないだ・つなごうとしている
- 他の相談支援機関等につなげなかった・まだつないでいない
- 担当分野以外の困りごとを抱えている人はいない・把握していない
- 回答なし

Ⅱ-4 事業所アンケート調査結果のポイント・課題

- ◆ 介護保険事業所の利用者は、健康、介護、買い物や通院、生活費、家族のこと、障害福祉サービス事業所利用者は、加えて子育て・教育、仕事のことなど、様々な不安を抱えている。
- ◆ 多くの福祉サービス事業所では、引きこもり、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーなど、実に多様な“担当分野以外の困りごと”を見聞きしている実態がある。
- ◆ こうした“担当分野以外の困りごと”を把握したとき、多くの事業所では「他の機関につなぐ」といった対応を行っている。
- ◆ 多様化・複合化する“地域生活課題”を把握した際に、関係機関と連携して解決につなげる仕組みを整備・充実していく必要がある。